

祈りについて③幼な子

ルカの福音書18:15-17

2013,11,24 HKJCF

概観

序)①神の国と祈り1)求め2)幼な子
3)謙り②児童祝福式の引用聖句

- 1、イエス様・幼な子・弟子
- 2、イエス様の教え(1),(2)
- 3、適用と祈り

I イエス様・幼な子・弟子

- 1、幼な子の祝福を求める人々
- 2、弟子たちの配慮←イエス様の心は？
- 3、イエス様のみ心
 - ①本質:神の愛の支配(ユダヤ人/世界)
 - ②目的:ダビデ王国の再現(神の国)
 - ③方法:エルサレム(での十字架)
⇒弟子たちはみ心が明確でなかったために却って主の妨げ(マタイ16:21-23)

II イエス様の教え(1)

- 1、みもとに幼な子を呼び寄せる:行為
- 2、止めてはいけない:メッセージ
- 3、神の国は幼な子の様な者のため:譬え
⇒全存在で神の国を教えるイエス様
 - ①幼な子とは:無価値(無知、無力、無能、無益、無分別、無意味、無視)
 - ②幼な子とは:恵み(存在価値、複雑なプライド・建前・業績主義=0 恩寵・愛・本音=100%)→ありのまま・無邪気)に生きる
○心の貧しさ ×自己義認

II イエス様の教え(2)

- 1、神の国を求める:熱心
 - ①神の国の教えを聴く
 - ②熱心に祈る
- 2、神の国を受け入れる:砕かれる
 - ①基準が砕かれ
 - ②神の国をそのまま受け入れる
- 3、幼な子の様に(心貧しく、大人心なく)
単純に神の国を信じ、受け入れ、入る→
求め、捜し、たたく ルカ11:9

III 適用と祈り

- 1、神の国は幼な子のも
- 2、幼な子の心とは自己義認の無い、ありのまま、貧しい心のこと
- 3、幼な子の心になり、自分の基準が砕かれ、神の国(神様の愛のみ心の支配)をそのままに受け取る
「主よ、私たちの幼な子のこころを与えてください。あなたの愛による支配をそのまま受け取れますように。」